

このメッセージの表示に問題がある場合は、[ここ](#) をクリックしてWebブラウザで表示してください。



UpToDateニュース

発行：2023年6月15日



「UpToDate®ニュース」では、英文ニュースレター「Current UpDate」で取り上げている、UpToDateに最近追加・更新された重要な情報や、「UpToDate Connection」に掲載している製品関連情報の抄訳記事の他、お役に立つ情報を日本語でお知らせしています。リレーコラム「UpToDateとわたし」は、日々の臨床や医学教育にEBMを実践されている医療従事者の皆様に原稿を執筆いただいています。ぜひ最後までお読みください！

アカウント再認証はお済みですか？

UpToDateログインIDをご確認ください。アカウント認証は90日で失効しますが、施設内でアカウントにログインすれば復活します。

目次

- EBM実践者のリレーコラム「UpToDateとわたし」
 - 国際医療福祉大学 医学教育統括センター教授・センター長 感染症学 教授 矢野晴美先生 執筆
- 臨床情報
 - 成人における緊急挿管時のビデオ喉頭鏡検査^(*1)
 - 多発外傷患者における静脈血栓塞栓症予防のためのアスピリン^(*1)

- うつ病の小児や青年における運動^(*1)
- UpToDate活用のヒント
 - 小児科分野の閲覧数上位トピックランキング
 - 導入事例：島根大学を中心とした医療人育成カリキュラムに組み込まれたUpToDate
 - 医薬品名の特定が容易になりました
- イベント情報
 - 定期オンラインセミナー開催のお知らせ
- 読者アンケート

このニュースレターに含まれるUpToDate掲載トピックは、編集時点の情報です。最新情報は、UpToDateにログインしてご確認ください。専門領域別の「What's New」や「Practice Changing UpDates」を読むには、[こちらをクリック](#)してください。

(*1) 2023年3月15日発行 Current UpDate (Volume 9、 Issue 6) 掲載記事抄訳

本ニュースレターは、UpToDate施設契約のご利用施設に在籍し、アカウント登録を完了しているお客様にお届けしております。以下のリンクからUpToDate臨床トピックにアクセスできない場合は、所属施設の契約管理者様にお問い合わせ下さい。

EBM実践者のリレーコラム「UpToDateとわたし」

UpToDateの活用

**国際医療福祉大学 医学教育統括センター教授・センター長
感染症学 教授
矢野晴美**

UpToDateは、私がニューヨークで総合内科レジデントをしていた1995-98年頃に利用できるようになった情報サイトです。当時はEvidence-based medicineがちょうど大きく取り上げられ、現場での実践が盛んになっていた時期でした。そのような中で、個人で、ある一つのトピックスについて網羅的に該当する論文を探し出し、クリティカルレビューをするのは大変でした。このUpToDateでは、Peer-reviewされた高質な情報に手軽にアクセスできるため、すぐさま病棟で、学生、レジデント、フェロー、指導医が活用し始めたことを今でも鮮明に覚えています。

私の現在の活用法を以下でご紹介します。

1. 自分自身の生涯教育として

現在、私は日米の総合内科と感染症科の専門医を取得しておりますが、そ

れを数年ごとに更新する必要があります。専門医の維持には一定の問題集を解いたり、試験を受験することが必要となっています。その際に、UpToDateを活用し、瞬時に最新の情報にアクセスし、それを参考に回答しています。実際、米国の更新試験はOpen-bookの試験であり、UpToDateを試験中に活用することが認められています。また実臨床でも、日々の診療で記憶が曖昧になっていた点などは、即座に現場で活用しています。先日、米国内科学会（ACP）総会に参加しましたが、対面での情報交換も有益ですし、バーチャルにUpToDateを通し、世界の最先端の情報にいつでもアクセスできることもとても役立っています。留意すべきは、どの情報ツールも完璧ではないため、そこは自分でしっかりと情報の吟味と取捨選択が必要になります。そのトレーニングを現場で行うことがますます重要になっています。

2. 臨床教育のツールとして

日々の診療の中で、学生、研修医と教育回診をしたり、外来などでディスカッションすることがあります。その時に、学生や研修医にあるトピックについて最新のreviewを読んできると課題を出したりしています。「ハリソン内科学」やUpToDateなどのPeer-reviewされたまとまった総説を読むことをお勧めしています。

3. 患者主体の診療の実現のために

現在、いろいろな臨床上的意思決定は、Shared-decision makingの時代になっています。そのような中で、患者と最新の診療オプションを相談するための客観的な情報としての活用も有益であると考えています。北米主体での記載ではありますが、それを国内事情を加味して国内向けのオプションとして活用するスキルも、临床上、必要な時代となっています。新型コロナウイルスのパンデミックにより、各国での対応の相違は明らかになりましたが、自国のコンテキストにおいて世界中のエビデンスを活用できるスキルも今後ますます必要になる時代と考えられます。

次のバトンは千葉西総合病院総合内科の八重樫牧人先生にお渡しします。

八重樫先生とはニューヨークの臨床留学のNプログラムの同窓で、長年の同志です。総合内科を日本で根付かせるため、地道なご尽力を長きに渡りなされています。今回プロフェッショナルには、私が支部長を務めさせていただいている米国内科学会（ACP）日本支部の予防医学推進タスクフォースの委員長にご就任いただき、エビデンスに基づいた予防医学の推奨事項を臨床現場にお届けすることを一緒にさせていただいております。八重樫先生、リレーエッセイをよろしくお願いたします。



ニューヨーク時代の総合内科レジデント仲間



米国内科学会（ACP）年次総会
最新のエビデンスにアクセスする対面学会

臨床情報

成人における緊急挿管時のビデオ喉頭鏡検査

Practice Changing UpDate：緊急挿管に喉頭鏡検査が適応となる成人では、直接喉頭鏡の代わりにビデオ喉頭鏡を使用することを推奨します (**Grade 2B**)。

ビデオ喉頭鏡（VL）は、直視せずに声門を可視化できる硬性デバイスで、救急外来での迅速導入気管挿管に使用されることが増えています。成人を対象とした222試験（多くは待機的手術）のメタアナリシスでは、マッキントッシュスタイル、ハイパーアングル、チャンネル化VLはいずれも、直接喉頭鏡（DL）と比較して挿管失敗率を減らし、初回挿管成功率を高め、声門視野を改善し、挿管時低酸素血症の発生を減少させました。これらのことから、緊急挿管時に喉頭鏡検査が適応となる場合、VLが利用できる場合は、DLではなくVLを使用することを推奨します。

詳しくは「[Video laryngoscopy for emergency intubation in adults](#)」（成人における緊急挿管のためのビデオ喉頭鏡検査）をご覧ください。

多発外傷患者における静脈血栓塞栓症予防のためのアスピリン

アスピリンは、待機的整形外科手術を受ける患者において静脈血栓塞栓症（VTE）を予防するための有効な選択肢ですが、外傷関連の整形外科手術における役割は十分に定義されていません。PREVENT CLOT試験が実施され、骨折に対して外科的固定術が必要な外傷患者におけるアスピリンの有効性が評価されました。12,000人を超える患者を対象とした無作為化試験において、アスピリンは低分子量ヘパリンに対し、非劣性を示しました。死亡、肺塞栓症、深部静脈血栓症、出血、その他の合併症の発生率に、臨床的有意差は認められませんでした。本試験は、整形外科的外傷を伴う多発外傷患者におけるVTE予防のためのアスピリンの役割を支持するものですが、アスピリンの使用が一般化されるために

は、アスピリン療法の最適なタイミング（開始時期）と投与期間を決定するさらなるエビデンスが必要です。

詳しくはトピック記事「[Venous thromboembolism risk and prevention in the severely injured trauma patient](#)」（重症外傷患者における静脈血栓塞栓症のリスクとその予防）内のセクション「[Aspirin](#)」（アスピリン）をご覧ください。

うつ病の小児や青年における運動

成人のうつ病に運動を処方することは、複数の試験で支持されています。身体活動は、うつ病を患う小児や青年にも効果があると思われます。2400人を超える若年者を対象とした21試験（ほとんどが無作為化試験）のメタアナリシスでは、様々な有酸素運動プログラム（一般に単独療法）は、通常のケア又は無治療と比較し、うつ症状の中程度の改善と関連していました。しかし、平均21週間の追跡調査の結果では、うつ症状の改善は運動の有無にかかわらず同等でした。単極性大うつ病の小児や青年には、薬物療法及び/又は心理療法とともに、補助的な治療として身体運動を推奨します。

詳しくはトピック記事「[Overview of prevention and treatment for pediatric depression](#)」（小児うつ病の予防と治療の概要）内のセクション「[Adjunctive exercise](#)」（補助的な運動）をご覧ください。

UpToDate活用のヒント

小児科分野の閲覧数上位トピック ランキング

UpToDateでは、現在25領域、12,300以上のトピックを掲載しています。今回は2023年3月に日本からのアクセスが多かった小児科のトピック上位5タイトルをご紹介します。

順位	タイトル
1	1か月以上の乳児や幼児の尿路感染症：急性期マネージメント、画像検査、予後
2	小児における頸部リンパ節炎：診断的アプローチおよび初期マネージメント
3	周期性嘔吐症候群
4	クループの管理
5	小児における尿路感染症：疫学および危険因子

出典：2023年3月の日本の利用者のアクセス状況より。

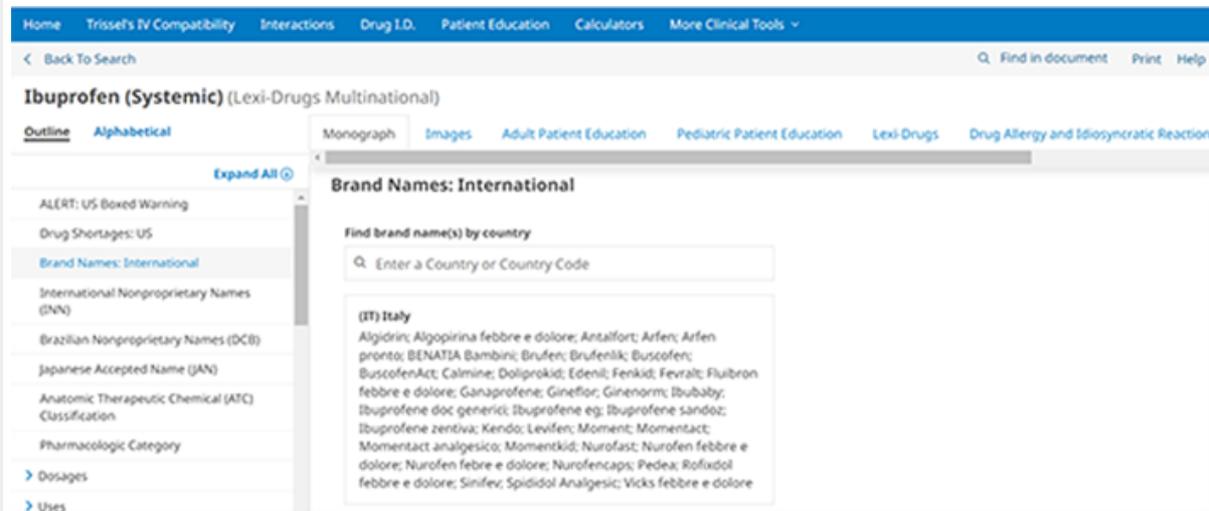
導入事例：島根大学を中心とした医療人育成カリキュラムに組み込まれた UpToDate

人口も医師数も少なく、少子高齢化の進む島根県は、超高齢社会にいち早く対峙する必要がありました。島根大学を中心に島根県全体に広がる医療人育成の取り組みについて、島根大学医学部 鬼形学部長ならびに関係者のみなさまにお話を伺いました。詳細は[こちらのページ](#)をお読みください。

医薬品名の特定が容易になりました

薬剤師が医薬品名を複数のブランド名と照合し、さらにその地域のブランドの有効成分と一致しているかを検索しなければならないのは万国共通です。時間に限りがある中、薬剤師は適切な医薬品を迅速に特定し、医薬品に関する安全な意思決定を行って過誤のリスクを軽減し、患者の安全を確保せねばなりません。

ウォルターズ・クルワーはこの問題の重要性を認識し、その臨床意思決定支援ソリューションであるUpToDateとLexicomp®をアップデートしました。世界でも広く利用されている医薬品リファレンスソリューションに数えられるLexicompには、その広範な世界各国の医薬品ブランド名データベースに150か国以上の50万種類を超えるブランド名が追加されており、医薬品を容易に確認して正確に処方し、患者の安全性を高められます。



The screenshot displays the Lexicomp interface for Ibuprofen (Systemic). The main content area is titled 'Brand Names: International' and features a search box labeled 'Find brand name(s) by country' with the placeholder text 'Enter a Country or Country Code'. Below the search box, a list of brand names is shown for '(IT) Italy', including Algidrin, Algopirina febbre e dolore, Antalfort, Arfen, Arfen pronto, BENATIA Bambini, Brufen, Brufenik, Buscofer, BuscofenAct, Calmine, Doliprokid, Edenil, Fenkid, Fevalit, Fluibron, febbre e dolore, Ganaprofene, Gineflor, Ginenorm, Ibubaby, Ibuprofene doc generici, Ibuprofene eg, Ibuprofene sandoz, Ibuprofene zentiva, Kendo, Levifen, Moment, Momentact, Momentact analgesico, Momentkid, Nurofast, Nurofen febbre e dolore, Nurofen febre e dolore, Nurofencaps, Pedea, Rofadol, febbre e dolore, Sinifex, Spididol Analgesic, and Vicks febbre e dolore. The interface also includes a navigation menu on the left with options like 'Outline', 'Alphabetical', 'Monograph', 'Images', 'Adult Patient Education', 'Pediatric Patient Education', 'Lexi-Drugs', and 'Drug Allergy and Idiosyncratic Reactions'.

イベント情報

定期オンラインセミナー開催のご案内

臨床・投薬意思決定におけるさらなるEBM実践を支援するため、UpToDateおよびLexicompの活用方法に関する無料のオンラインセミナーを定期開催しております。開催告知メールを現在受信しておらず、今後ご希望の方は、[こちらのフォーム](#)よりご登録をお願いします。毎月1回程度、Eメールでご案内いたします。皆様お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。

登録受付中

- 6月20日（火） 5:30pm～6:10pm 医薬品の選択・投与・副作用とエビデンスの調べ方 [お申し込み・詳細](#)
- 7月12日（水） 5:30pm～6:10pm UpToDate徹底活用セミナー [お申し込み・詳細](#)

開催予定（受付準備中）

- 8月23日（水） 5:30pm～6:10pm 医薬品の選択・投与・副作用とエビデンスの調べ方
- 9月19日（火） 5:30pm～6:10pm UpToDate徹底活用セミナー
- 10月24日（火） 4:30pm～5:10pm 「対話型クリニカル・パス」および「臨床検査ガイドライン」の徹底活用
- 11月15日（水） 5:30pm～6:10pm 医薬品の選択・投与・副作用とエビデンスの調べ方
- 12月13日（水） 4:30pm～5:00pm 3分でわかる！UpToDate入門オンラインセミナー

※「UpToDate徹底活用セミナー」の内容は、「UpToDate入門オンラインセミナー」と一部重複しますが、より踏み込んだ解説や未紹介のコンテンツ・機能の紹介を行いますので、同講座を受講済みでもお楽しみいただけます。

※上記開催日時は予告なく変更になる場合がございます。

※参加登録ページで開催日時が海外のタイムゾーンで表示された場合は、「東京時間」をご選択ください。

読者アンケート

読者アンケートにご協力をお願いします

UpToDateニュースをお読みいただきありがとうございます。今後お読みになりたいコンテンツのご希望について、アンケートにご協力をお願いします。回答をお寄せいただいた方の中から、先着30名の方にウォルターズ・クルワー特製付箋紙をお贈りさせていただきます。なお、当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

[こちら](#)よりアンケート回答フォームにお進みください。

このお知らせはお役に立ちましたか？



Wolters Kluwer
230 Third Avenue Waltham MA 02451



本メールは、ウォルターズ・クルワーからのEメール・コミュニケーションにご登録された方にお届けしております。

[Lexicomp®](#) | [Medi-Span®](#) | [UpToDate®](#) | [Emmi® patient programs](#)

© 2023 Wolters Kluwer and its affiliates and/or licensors. All rights reserved.



Wolters Kluwer